

知床の窓から見えるもの

2024年11月14日（木曜日）

今年も早いもので、残すところ2ヶ月を切ってしまいました。

今年は、正月早々石川県が地震により甚大な被害に見舞われ、未だ復旧もおぼつかない中、今度は豪雨による災害で、さすがに2度目となると心が折れた方々もいて、お見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。そして一日も早い復興を願っています。

ところがこのブログの下書きをしていたところ、10月15日（火）午前7時25分頃に我が町、羅臼町で土砂崩れの災害が発生致しました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、復旧には日数を要するので、役場には迅速な対応と孤立した人々の為にも、早急な復旧工事を願っていたところ、翌日の午後には、道路が片側通行と時間規制になりますが、通行可能となりました。何日間も、陸の孤島にならずになによりでした。（ちなみに104世帯の孤立）

さて、ここからは自分の趣味の話に変わりますが、今年の釣り師としての釣果でございしますが、カラフトマスはなんと0匹、30歳の時、友人に誘われて始めた趣味ですが、30数年間に及ぶ釣り師としての人生で、最悪の結果となりました。昨年も数匹でしたので、成るべくしてなった釣果と思っています。

{決して腕のせいではないことを申し添えます}

サケは自慢できるほどではありませんが、トータル16匹、地道に細々と釣りにあげています。そして今年は釣りガール（診療所看護師）もあらわれて釣り場等を案内した結果、早々に2匹釣り上げました。彼女は釣れない時でも、諦めずに何度も竿を振る姿には驚きました。（アングラーとしての根性は満点です）

年々、海水温の上昇により、マグロやブリといった魚が網にかかり、太平洋岸のサケ・マスの漁獲高が減少、それに伴い我々釣り師の釣果も減ってきていますので、なんとか私が健康で釣りができる間（あと15年）は、サケ・マスの釣りができる環境が保持されていることを願っています。

それでは最後に、釣ったサケと地元の定置網にかかったカジキマグロの写真を載せて失礼致します。

